

10月1日から家庭用パソコンのリサイクルがスタート 市リサイクルプラザでは処理できなくなります

パソコンの回収・リサイクルが資源有効利用促進法に基づいて全国で一斉に始まります。10月1日(木)から家庭用のパソコンを廃棄する場合には、パソコンメーカーが回収、リサイクルするため、市では処理できなくなります。

■10月1日以降のパソコンの回収方法

- ①使用していた人が、排出パソコンのメーカーに連絡する
- ②メーカーから、「回収・再資源化料金振込用紙」が送られてくる
- ③回収・再資源化料金を、各メーカー所定の方法で振り込む
- ④振り込みをメーカーが確認後、「ゆうパック伝票」が送られてくる
- ⑤排出パソコンをこん包し、「ゆうパック伝票」を貼り付ける
- ⑥こん包したパソコンは、郵便局に持ち込むか、「ゆうパック伝票」に記載されている郵便局に連絡し、戸口での回収を依頼する



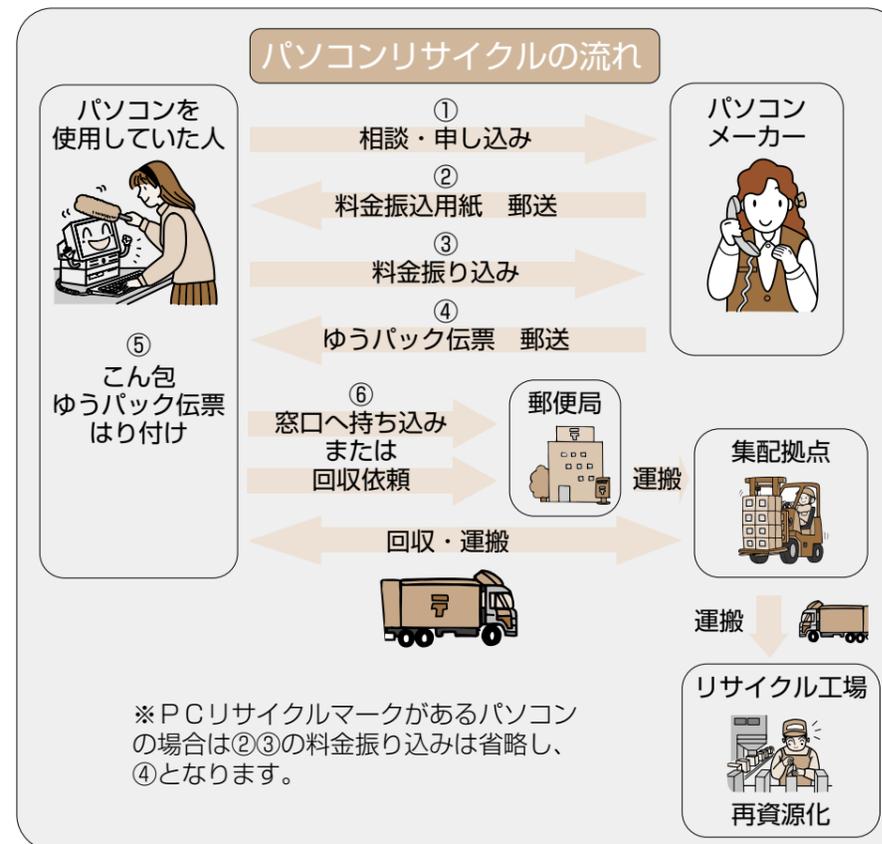
※PCリサイクルマークの付いているものは、パソコン購入時の価格に、回収・再資源化料

金が含まれていますので、②・③の必要はありません。なお、自作のパソコンについては、清掃課にお問い合わせください。

■再資源化料金

パソコンの回収、再資源化のための再資源化料金の一例を示します。料金は各メーカーごとに設定されています。詳しくは、各メーカーにお問い合わせください。

対象製品	回収・再資源化料金(参考)
デスクトップパソコン本体	3000円/台
ノートブックパソコン	3000円/台
CRT(ブラウン管型)ディスプレイ	4000円/台
CRTディスプレイ一体型パソコン	4000円/台
LCD(液晶型)ディスプレイ	3000円/台
LCDディスプレイ一体型パソコン	3000円/台



プラスチック製容器包装・ペットボトル回収後の行方

4月1日から市内全域で、プラスチック製容器包装の分別回収が始まりました。皆さんのご協力で分別されたプラスチック製容器包装は、回収された後、どのような行程を経て、リサイクルされているのでしょうか。



「プラ」のマークがついており、中身を使い切って不要となった入れ物です。

■分別収集の目的

- ①資源として再利用できる
安城市で収集されたプラスチック製容器包装は、東海市内にある処理工場で再資源化されています。
- ②焼却炉の損耗を少しでも抑える
燃やせるごみの中にプラスチックがたくさん入っていると環境クリーンセンターの焼却炉を傷める原因となります。
- ③焼却炉の処理能力が限界に近い
少しでも燃やせるごみを減量する必要があります。

■プラスチック製容器包装のリサイクルの流れ

- ① 皆さんが分別して出したプラスチック製容器包装は、収集され市内の分別工場へ搬入されます。
- ② 分別工場で、異物などが除去され、圧縮こん包された後、東海市内の製鉄所に運ばれます。



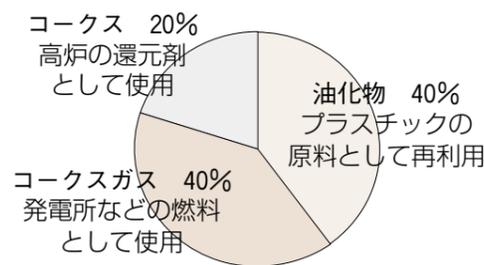
市内の分別工場での選別の様子。一袋ずつ検査し、再資源化できないものは取り除かれる



圧縮こん包の様子。発泡ビーズが飛散して、こん包機が止まってしまうこともある

③ 製鉄所に運ばれた圧縮こん包品は、異物が取り除かれ、細かく砕くなどの行程を経ます。その後、プラスチックは、コークス炉に入れられ、1200度で熱し、コークス、油化物、ガスに分解されます。コークスは高炉の還元剤となり、ガスは発電所などの燃料として、油化物は石油化学燃料としてプラスチックの容器、塗料などに生まれ変わります。

■再資源化されたプラスチックの利用状況



■ペットボトルのリサイクル

① プラスチック製容器包装とは別にスーパーやリサイクルステーションで回収されたペットボトルは、まず、市の清掃事業所に運ばれます。

- ② 清掃事業所で、再資源化に適さない汚れたペットボトルやふたを取り除き、圧縮こん包した後、碧南市内にある処理工場に輸送します。
- ③ 処理工場に運ばれたペットボトルは、1cm角ほどの薄い板状のチップにされます(フレーク化)。
- ④ チップは、岐阜県内の化学繊維工場に運ばれ、加工して化学繊維となります。安城市のペットボトルは、最終的に衣類に生まれ変わるため、きれいなペットボトルでなければなりません。

■ペットボトルの回収について

ペットボトルをごみステーションで回収してほしいとのご要望を多くいただいています。しかし、ごみステーションで回収した場合の費用を試算すると、2週間に1回の回収で、1年間に約6400万円の費用が新たにがかかります。このように費用の負担が大きいため、ごみステーションでの回収は予定していませんが、今後も回収する場所を増やしていきますのでご協力をお願いします。